

◆授業のポイント◆

- ・ 4技能を総合的に育成する指導の工夫
- ・ 思考の過程を捉えて表現力を高める工夫

英語科学習指導案

学 級 3年6組(男子18名、女子16名 計34名)

場 所 3年6組教室(3年校舎3階)

授業者 教諭 松山 エリ

1 単元 New Horizon English Course 3 Unit 3 "Fair Trade Chocolate"

2 単元について

本単元では、日本の国から離れたアフリカの国が話題に取り上げられ、海外の子どもたちと日本の子どもたちが大きく異なる生活をしていることについて知り、自分たちの生活について考えさせる内容となっている。また、フェアトレードの考えやガーナの 카카오 産業についても学べるように構成されている。単元の終わりにリタの手紙で「食べること、飲むこと、学ぶことがすべての子どもの権利」であると基本的な人権についても触れられ、本校生徒の今後の生活により影響を与える内容となっている。主な言語材料では、現在完了形があり、経験的な表現や完了的な表現、不定詞の原因を表す副詞的用法がある。

本学級の生徒は、どの生徒も落ち着いて学習に取り組むことから、英文を読んで内容を少しずつ読み取る学習に適している。しかし、読み取った内容に対する自分なりの考え等を発表することに対して苦手意識が見られ、発表の声がやや小さい。読み取った内容に対する意見は持っているが、それらを英語の文章で表現するために時間がかかる。

指導にあたっては、自分の考えを適する英文で表現させるために、フェアトレードの考えやガーナの労働環境の現状、リタの手紙の内容に関してペアで会話したり、意見を述べ合ったりする活動に取り組ませたい。そこで、生徒が読み取った内容に関して意見を述べたり、会話したりする場面で、適する表現を選択できるように Warm up で ICT を活用し、繰り返し英語で自分の考えを表現する場面を設定したい。また、意見や会話を整理させるためにメモさせ、生徒の思考を捉え、必要に応じて生徒の文章がより適する表現になるよう指導に生かしたい。

3 単元の目標

- (1) 現在完了形を含む文を用いて、意欲的に英語でコミュニケーションを図ろうとする。
- (2) 現在完了形を用いて、フェアトレードについて説明できる。
- (3) フェアトレードについて読み取ったり、友達の意見を聞き取ったりして、その内容を理解することができる。
- (4) 現在完了形を含む文の意味・形・用法を知っている。

4 単元の指導計画(全7時間)

【Goal : フェアトレードに関する自分の意見を発表しよう】

時	主な学習内容	主な 技能の 統合	○ 4技能を統合的に活用する指導の工夫 □ 思考の過程を捉えて表現力を高める工夫
第1時	・ スキーマの形成 ・ 単元の学習計画の確認 ・ Starting Out の新出語句の理解 ・ Starting Out の基本文の理解 ・ 本文の内容に関する意見交換	W ↓ S・L ↓ R・W	○ 読み取った内容に関する意見を簡単な英文で書く。 ○ フェアトレードに対する意見を友達と交換する。 □ 自分の意見を英語でノートに書いた後に相互に交換し、必要に応じて修正を書く。
第2時	・ 前時の復習 (Starting Out) ・ スキット原稿の作成 「フェアトレードを広めよう」	S・L ↓ W・R	○ 電子黒板でフェアトレード商品を提示し、英語でとなりと会話する。 ○ フェアトレードについて知っているか尋ねたり、フ

・ 本時	・ スキット発表の練習 ・ スキットの発表	↓ S・L ↓ W	フェアトレードや商品について簡単な英文で説明したりする スキットをペアで作成し、グループで発表する。 □ 作成時にワークシートを交換し、必要に応じて修正を書く。 ○ フェアトレードに関して聞き取ったことをノートに一文書き取る。
第 3 時	・ Dialog の新出語句の理解 ・ Dialog の基本文の理解 ・ Q and A を用いた本文の理解 ・ 本時の基本文や本文の内容に関する意見交換	W・R ↓ S・L	○ 聞き取った内容に関する意見を簡単な英文で書く。 ○ ボランティア活動について友達と意見交換をする。 □ 自分の意見をノートにまとめ、相互に交換し、必要に応じて修正を書く。
第 4 時	・ 前時の復習 (Dialog) ・ RC1 の新出語句の理解 ・ RC1 の基本文の理解 ・ Q and A を用いた本文の理解 ・ 本時の基本文や本文の内容に関する意見交換	R ↓ S・L ↓ W・R	○ ガーナの人々の労働の実態を読み取り、フェアトレードについて友達と意見交換をする。 □ 自分の意見をノートにまとめ、相互に交換し、必要に応じて修正を書く。
第 5 時	・ RC2 の新出語句の理解 ・ RC2 の基本文の理解 ・ Q and A を用いた本文の理解 ・ 本時の基本文や本文の内容に関する意見交換	S・L ↓ W・R	○ リタの手紙の内容について友達と意見交換をする。 □ 自分の意見をノートにまとめ、相互に交換し、必要に応じて修正を書く。
第 6 時	・ 前時の復習 (RC2) ・ 意見交換 ・ フェアトレードに関する自分の考えのまとめ	S・L ↓ W・R ↓ W	○ 電子黒板でフェアトレード商品を写真で提示し、簡単な英文で説明する。 ○ フェアトレード商品を買うか買わないか意見交換をする。 □ ワークシートを交換し、必要に応じて修正を書く。 ○ 聞き取った友達の意見をノートに書き取る。
第 7 時	・ Unit 3 まとめ ・ スピーチの作成 ・ スピーチの発表 「私にできること」 ・ 友達の考えのメモをとる	W ↓ R ↓ S・L ↓ W	○ 電子黒板でフェアトレード商品や活動の様子を提示し、フェアトレードに関する自分の意見を整理させる。 □ 作成時にワークシートを交換し、必要に応じて修正を書く。 ○ フェアトレードについて自分の考えをまとめ、グループで発表する。 ○ 聞き取った友達の意見をノートに書き取る。

5 単元における評価規準

I コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	II 外国語表現の能力	III 外国語理解の能力	IV 言語や文化についての知識・理解
(言語活動への取組) ア 相づちをうったり、メモをとったりするなど、相手の話を関心をもって聞こうとしている。 イ 聞いたことについて簡単な言葉や動作などで反応している。 ウ 本単元の基本文や内容を参考にフェアトレードに関して意欲的に	(正確な音読) ア 正しい強勢、イントネーション、区切りなどを用いて音読することができる。 (適切な発話) イ 適切な音量や明瞭さで話すことができる。 ウ フェアトレードに関する自分の考えや気持ちについて英語で正しく話すことができる。	(正確な読み取り) ア 語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を正しく読み取ることができる。 (適切な読み取り) イ あらすじや大切な部分などを読み取ることができる。 ウ 話されている内容から友達の考えやフェアトレードについて理解	(言語についての知識) ア 基本的な強勢やイントネーションなどの違いを理解している。 イ 話を続けるために必要なつなぎことばや相づちをうつ表現などを知っている。 ウ フェアトレードに関する自分の考えを説明するための語句や文、文法などに関する知識

意見を発表しようとしている。 エ 本単元の基本文や内容を参考に、フェアトレードに関する自分の考えを書こうとしている。	(適切な筆記) エ 語句や表現、文法事項などの知識を活用しフェアトレードに関する自分の考えを書くことができる。	できる。 エ 話の内容や書き手の考えなどに対して意見を述べるように書かれた内容や書き手の意向を理解することができる。	を身に付けている。 (文化についての理解) エ フェアトレードの文化的な背景について知っている。
---	--	---	--

6 本時の実際（２／７）

(1) 目標

- 現在完了形（経験的な表現）を用いたスキット作成に積極的に取り組もうとしている。
- 現在完了形（経験的な表現）を用いて、フェアトレードに関するスキットを作成することができる。
- フェアトレードに関する友達の話の聞き取ったり、スキットの内容について読み取ったりすることができる。
- 現在完了形（経験的な表現）の意味・形・用法を知っている。

(2) 授業設計の工夫

- 4技能を総合的に育成する指導の工夫

相手に分かりやすく自分の考えを伝えるために、4技能を意識的に統合して活用する言語活動に取り組むことにした。具体的には、スキットを作成する学習活動で、スキットに適する場面をペアで考えさせ、考えた場面にあった表現をワークシートに書き取らせ（Writing）、書き取らせた会話文が設定した場面に適しているか確認（Reading）させる。スキット完成後は、それぞれワークシートを見ずに場面にあった自然な会話になるように音読練習をさせる。発表（Speaking）では、スキットの場面設定をおさえてからペアが作成したスキットの会話の流れが適切か聞き取らせる（Listening）。このように、技能を関連付けて言語活動を進めることで、それぞれの技能の特質が生かされ、生徒が英語を使って自分の考えを様々な方法で表現することができると考えた。

- 思考の過程を捉えて表現力を高める工夫

生徒に学習した基本文等を場面に応じて活用したり、コミュニケーションの相手を意識したりして自分の考えをわかりやすく伝えることを意識したスキットの作成に取り組ませることにした。スキット作成時に、場面にあった表現や会話を円滑に進める相づちなどをどのように配置するか整理することで、会話の流れがより自然になると考えた。そこで、ペアで適する表現をワークシートに書き込み、お互いに確認することで、つまづきやすい文法事項や語句等を整理させることができると考えた。また、ペアで作成した原稿をグループで交換することで二人で気付かなかった表現上の間違いや適する表現などに気付き、場面にあったスキットが作成できると考えた。その際、グループでワークシートを交換するときには、修正や意見を色ペンで記入させ、自分の考えと区別させ、最終的なスキット完成の参考とさせる。

(3) 展開

時間 (分)	学 習 過 程	主 な 学 習 活 動	指導上の留意点と評価 ・ 指導上の留意点 ※思考の過程が見える工夫 ◎評価
10 分	1 Greetings 2 Review	1 日常会話を含んだあいさつをする。 2 前時の復習をする。	・ 英語学習の雰囲気をつくる。 ※ フェアトレード商品や活動の様子を提示し、前時で学習した表現を使って英語で会話させる。(電子黒板)
	3 Today's Goal	3 本時の学習目標を確認する。	・ スキット原稿の完成、発表に向

